



# つながる・知る・うまれる

令和4年度 地域づくり加速化事業（全国研修）

厚生労働省老健局認知症施策・地域介護推進課  
地域づくり推進室 室長補佐 岸 英二

# CONTENTS

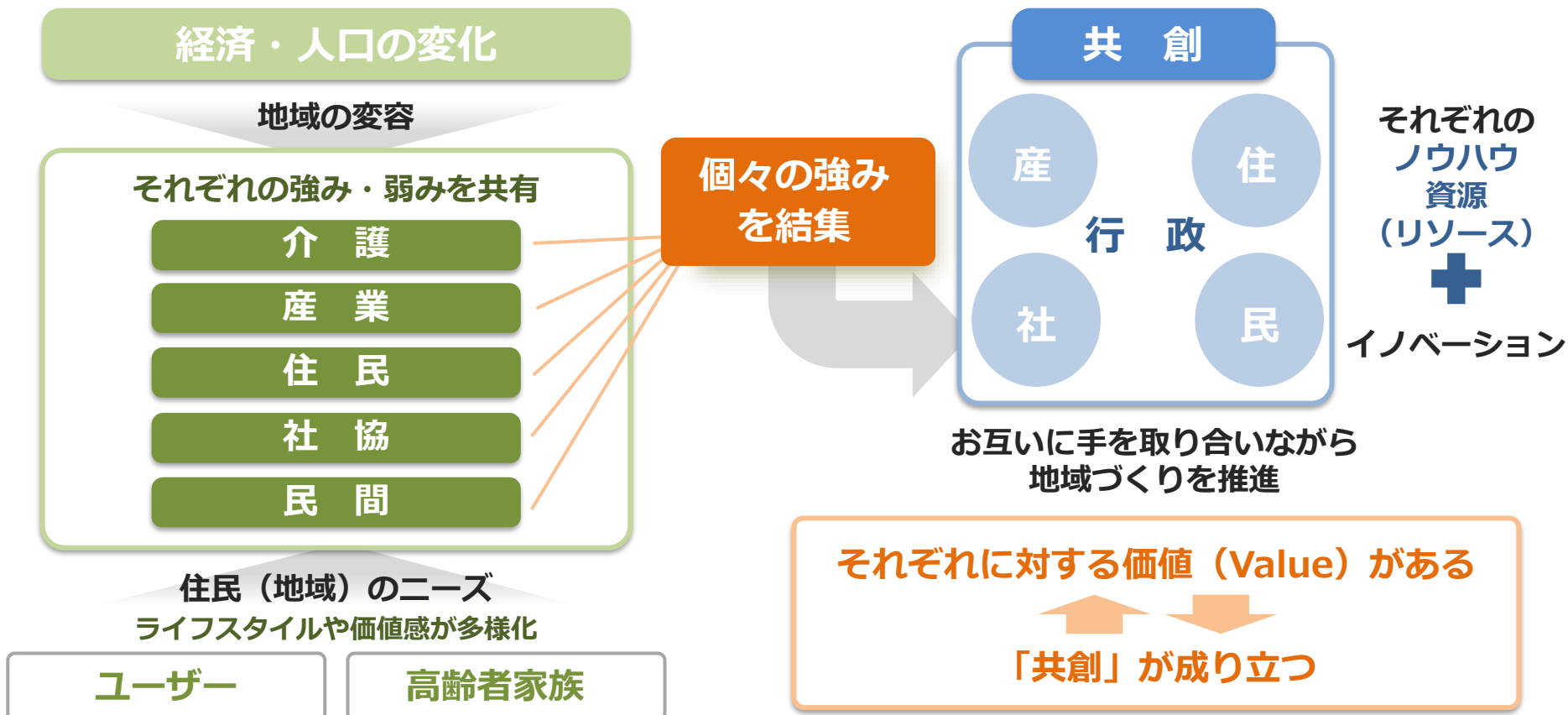


## 目次

- 1 地域づくりにおける多様なつながりの必要性
- 2 地域づくり加速化事業のコンセプト
- 3 つながる・知る・うまれるとは
- 4 振り返り・まとめ

## 共創イノベーションによる地域づくり

- これからの社会においては、地域ごとにある関係機関・者が、それぞれの強みを活かし、相互に手を取り合いながら地域をつくっていくことが肝要（=共創イノベーション）
- さまざまな産業の多様な主体が、それぞれ強みを活かしながら活動してきて今日を迎えており、その強みを認め合うことが、地域づくりの第一歩となる



## 地域支援事業を活用した地域のリデザイン

『「地域」の変容』が起こっている

地域をデザインし直す必要性

高齢者施策分野のミッション→地域包括ケアシステムの構築

市町村のツール

地域支援事業

<地域支援事業の2本柱>

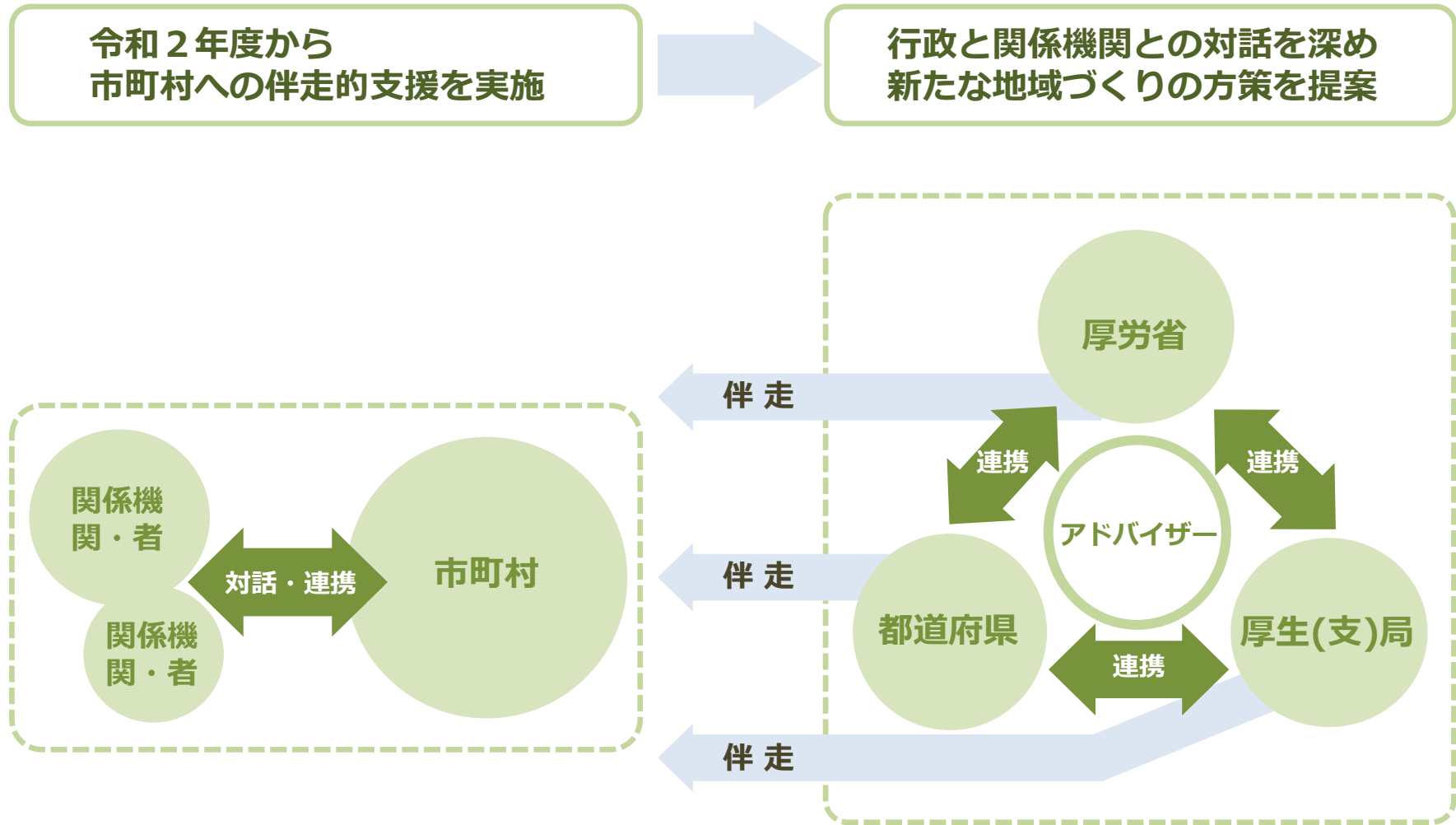
- 介護予防・日常生活支援総合事業**  
(要支援1～2、それ以外の者)
- 介護予防・生活支援サービス事業
    - ・訪問型サービス
    - ・通所型サービス
    - ・生活支援サービス(配食等)
    - ・介護予防支援事業(ケアマネジメント)
  - 一般介護予防事業

- 包括的支援事業**
- 地域包括支援センターの運営  
(左記に加え、地域ケア会議の充実)
  - 在宅医療・介護連携推進事業
  - 認知症総合支援事業  
(認知症初期集中支援事業、認知症地域支援・ケア向上事業 等)
  - 生活支援体制整備事業  
(コーディネーターの配置、協議体の設置 等)



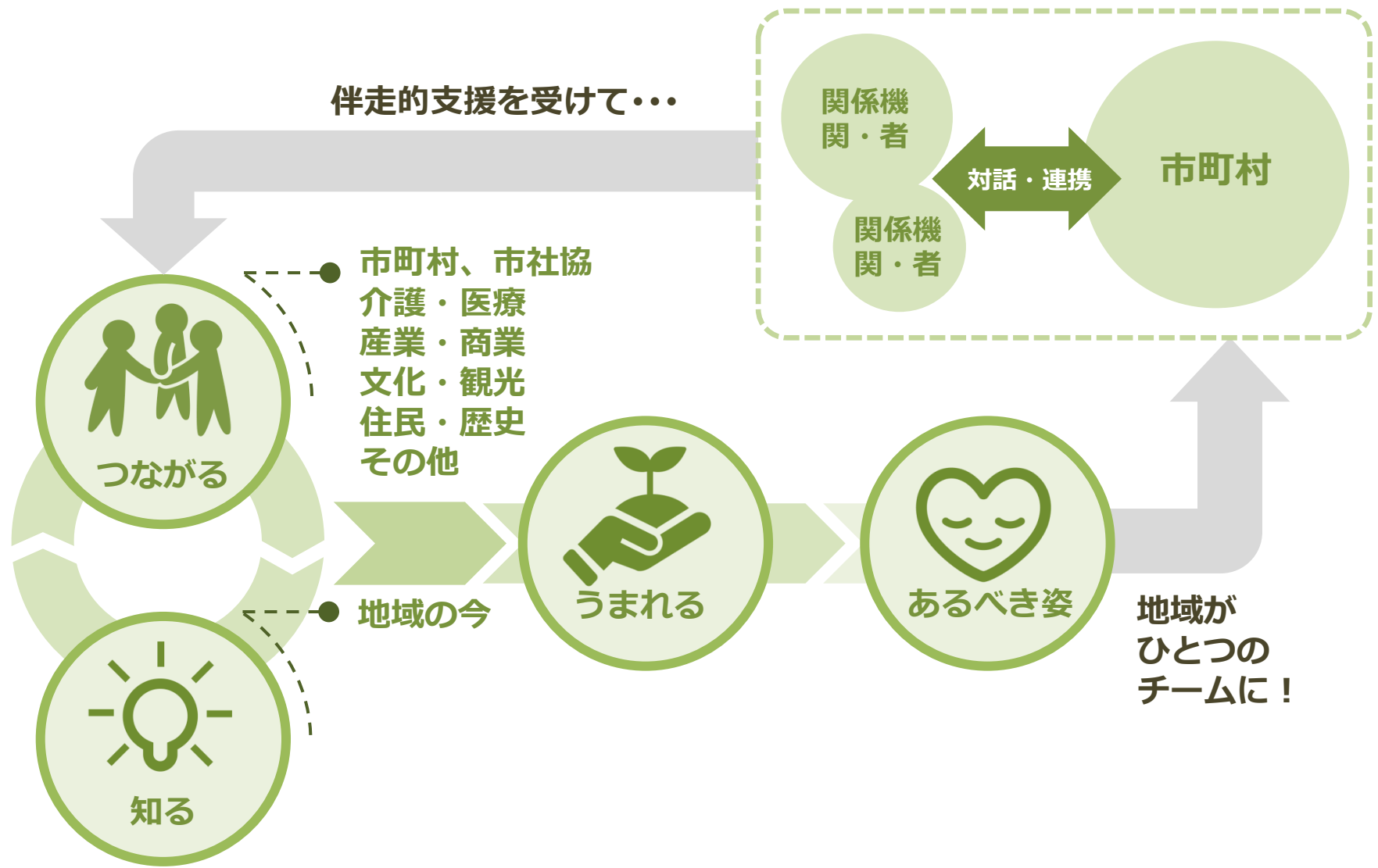
→今までは国が決めたサービスを使ってもらうものから、  
市町村が地域の力を総動員してサービスを作ることができる

地域づくり加速化事業のコンセプト①

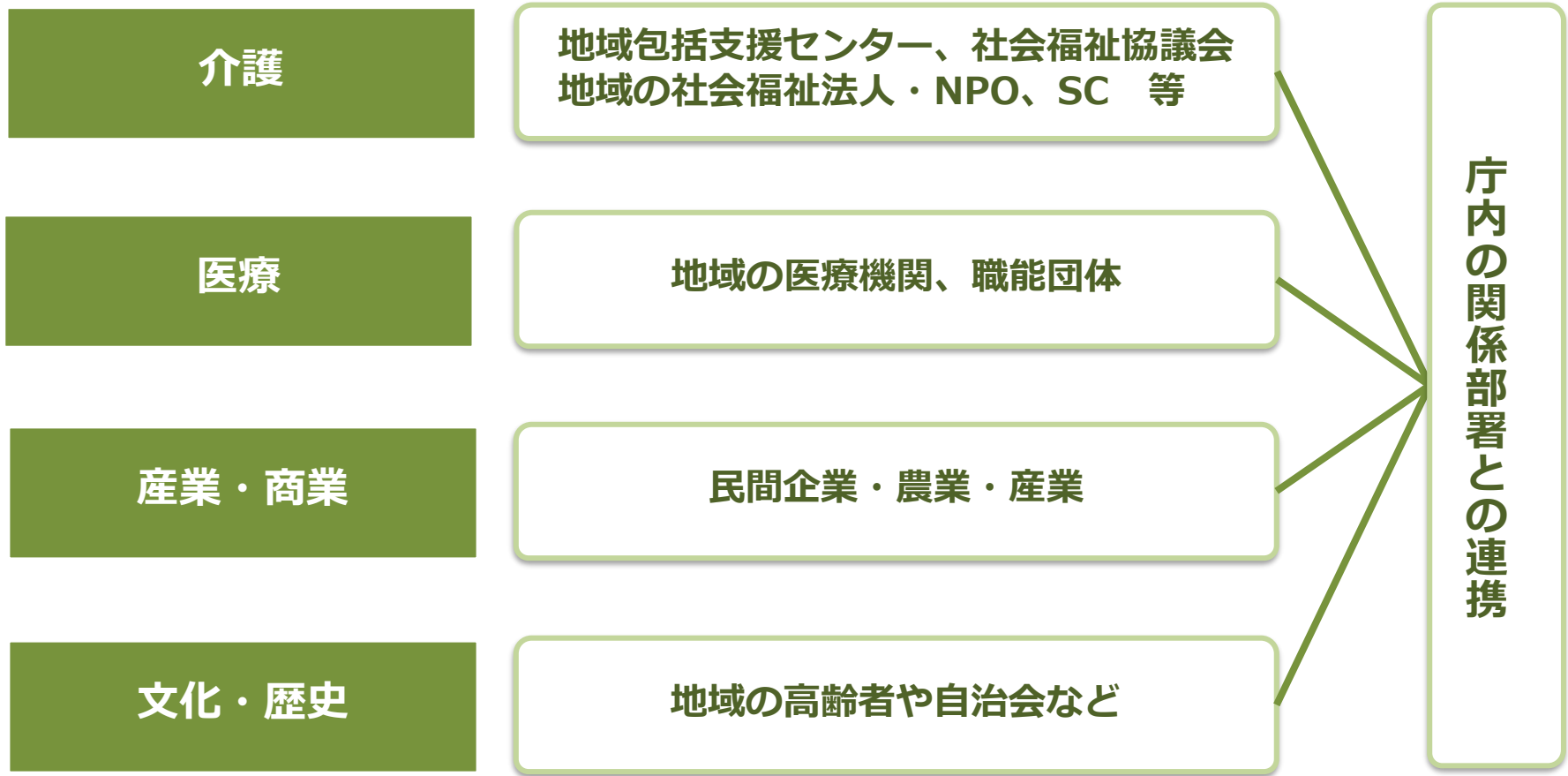




地域づくり加速化事業のコンセプト②



行政だけで地域づくりは実現しない①⇒それぞれのphaseでつながる



## 行政だけで地域づくりは実現しない⇒【対話】からはじまる価値の創出

- 対話なら日頃から十分に行っているし連携もできているけど…
- 十分な対話できていない…要望は受けているが…

つながる

### 【本当の声】を聴くためのオープン・インタビューの実践

- リラックスした状態で
- オープンクエスチョン
- 感情が動く瞬間を見逃さない
- 対話が終わったときこそ

知る

### 【それぞれの声】を【ひとつの言葉】にする

- それぞれが価値を感じているもの
- それぞれが知っていること・やっていること
- それぞれが困っていること
- それぞれができること・やりたいこと

生まれる

### 【ひとつの言葉】から【新しい物語】をつむぐ

- 【自分たち】ができることは？
- 【地域の資源】のうち何が使えるか？
- 【誰と誰】を納得させればうまくいくか？
- そのために語るストーリーをデザインする



## 振り返り・まとめ

- 1 地域づくりに共創イノベーションが大切な理由
- 2 地域支援事業を活用した地域のリデザイン
- 3 地域づくり加速化事業のコンセプト（チーム支援）
- 4 「つながる・しる・うまれる」から新たな価値につながる化学反応